

大日本帝國政府

大日本帝國政府

昭和十九年二月二十九日

大藏省外資局長

横濱正金銀行總務部長 殿

日本銀行外事局長 殿

昭和十九年三月三十一日以降銀行在外資產損失補償制ニ於ケル日本銀行又ハ集中勘定トノ取引方法ニ付テハ昭和十七年一月六日附載爲總第二號ノ通達實施細目ニ拘ラス當分ノ間存記方法ニ依ルコトニ致候候御了知相成度

記

一、實施細目第四項乃至第六項ニ依ル日本銀行又ハ集中勘定トノ現賣先買ノ乗換取引ニ於ケル先物ノ受渡期ハ昭和二十一年三月三十一日本スルコト但シ公定電信相場ヘ公定電信相場ナキモハ大藏省

ニ氣マサ公宝置計貯蔵モ以テ貯蔵庫ニ草之聚貯藏庫モ設スニテ各課賞賛ニ賣買シテ・長てハ土蓋即賣又ハ賣賃既高ニ甘當日伊留時二十半三民三十一日受難購日匯來食ニ甘モハ跡來・式過ニ办ハ賣賃ナセム・投賣ニ匯ス小賈賞賸益命モ覺受スルニテ近接貯蔵庫モ以テ更ニ前章ニ海小受難購日・經跡ニ柴是ヘ蓋・又ハ賣出ナシ・木代ハ土蓋即賣又ハ賣斷甚高ニ甘當日ニ氣マサ中藏室ハ前章即賣ニ海小購日匯來・又ハ中ハ貯賃既日當難購日・日本體音又ハ中藏室イハ出合頭目・受難購日ハ伊留時二十一半三

# 大日本帝国通報

日本大臣ニ付公文書附註  
武買乗船現地ニ在り、受渡期ハ昭和二十一年三月三十日  
一 賦課目税關改至六月ニ及ぶ。日本通音又ハ集中鑄造イ、貯賣  
縣產二種、征賦實產縣目ニ附モ、大當代大國式滿洲ニ付ニイニ達  
販賣又ハ集中鑄造イ、東洋式滿洲付モハ昭和二十一年一日六日開港處  
昭和二十一年三月三十一日、通音又ハ貯賣失誤附註ニ付モ、日本  
日本通音又ハ集中鑄造イ、運輸日ハ翌日、監督日又ハ  
財政五年鑄行處處置是、運輸日ハ翌日、監督日又ハ  
長三十一年十二月二十日、大通音又ハ集中鑄造イ、運輸日ハ  
日本通音又ハ集中鑄造イ、出合日期、受渡期日ハ昭和二十一年三  
昭和二十一年二月二十日

# 大日本帝國政府

外資局ヨリ指示スル相場ノ、變更アリタル場合ハ右ニ拘ラズ當該  
外貨資金ノ乘換取引ノ受渡期日ハ變更アリタル場合ノ翌營業日ト  
スルモノトス  
二、前項但書ニ依ル期日到来セルトキハ銀行別ニ當該外貨資金ノ買戻  
ヨ爲サシメタル上更ニ前日ニ於ケル改訂相場ヨ以テ現賣先買ノ取  
引ヨ爲シ前項ニ依ル期日ヲ受渡期トスル先物ニ乘換フルコト  
三、實施細目第七項ニ依ル日本銀行又ハ集中勘定ト、現賣先買ノ乘換  
取引ヨ爲スヲ要スルトニハ之ニ代ヘ前項ノ受渡期ニ拘ラズ當該資  
産ニ相當スル金額ノ外貨資金ノ先買豫約ノ實行ヨ爲スコト

# 大日本帝国通報

# 大日本帝国政府

昭和十九年二月二十九日

南方開發金庫業務部長 殿

大藏省外資局長 久保文藏

第三國通貨爲替持高集中制ニ於ケル日本銀行トノ出合取引ノ受渡期  
日並ニ受渡期日ニ於ケル乗換方法ニ付本日別紙ノ通日本銀行ニ通知  
致置候ニ付可然御取計相成度  
(日銀通牒添付ノコト)

三昧ニ昧當又正金銀、投資資金、武賣產物、莫音更復久江口之或  
通車門無惱又更復久江口之或玄ニ分ヘ前題ニ受過誤ニ時又勿當轉資  
再販輸母輸士貢半身日本賄督又ハ樂中商事有勿慶賣武賣、乘船  
居セ微之前取ニ若山限日費受過誤ナ大山武庫ニ乘船ニ此仁イ  
轉運者之大變此生要ニ前日ニ領也山近雷林源セ以モ興賣武賣、取  
二前取且書ニ送山限日從來吾山牛ハ過音限ニ當知民賣資金、賣吳  
スム子々イ大

## 大日本帝国政府

(日銀監理部付、ニイ)

證書列ニ付取引附註付明財物並支票本票等之類を付  
日本政府受渡期日ニ付テハ乘船式若ニ付日本政府日本政府ニ  
第三國通商會社樹高與中歸ニ付テ少日本政府生出合事便ニ受渡期  
長等通商兩事ニ付本票日本政府受渡期事大通貨牌ニ開港場  
華南六開發金屬業荷船易類通之貨や山地鐵道車輛等貨物及  
戶頭通商事務課日大藏省外資局長久保文藏

大藏省外資局長久保文藏

大藏省外資局長久保文藏

昭和十八年四月十九日

大藏省外資局長久保文藏

橫濱正金銀行爲替部長  
伊藤和雄殿

本年一月一日以降補償制第三國通貨爲替持高集中ニ於ケル日本銀行  
又ハ集中勘定トノ出合取引ノ受渡期日ニ付テハ昭和十七年十二月二  
十八附藏外爲第四三六六號ヲ以テ當該取引日ノ屬スル毎半期末日ト  
シ六月及十二月中ノ出合取引ハ翌半期末日トスルコトニ通知致置候  
處本年三月十一日法律第四十二號ヲ以テ銀行ノ營業年度ハ<sup>ナ</sup>四月ヨ  
リ九月迄及十月ヨリ翌年三月迄」ト改正アリタルヲ以テ本年五月一  
日以降右出合取引ノ受渡期日ハ當該取引日ノ屬スル毎半期末日（九  
月末日又ハ三月末日）トシ三月及九月中ノ出合取引ニ限リ翌半期末  
日ヲ受渡期トスルコトニ決定致候條御了知相成度  
追而本年六月三十日受渡期日到來分ニ付テハ從來ノ方法ニ依リ各

大日本帝國通報

而本年六月三十日受新賄日既來乞ニ付モハ歸來、式典ニ附リ各  
日モ受新賄イヌボロイニ央宝賄財辦事丁取締如實

月末日又ハ三月末日ノイニ三月又六月中、出合頃日ニ遇リ暨半賄末  
日遇頃古出合頃日、受新賄日ハ當頃頃日、標スル額半賄末日一六  
〇六月或八十月ニシテ暨半賄末日「一」迄五てり又小モ以モ本年正月一  
齋本年三月十一日出合頃四十二號モ以モ號言、營業半賄ハ十四日  
〇六月又十二月中、出合頃日ニシテ當頃頃日、標スル額半賄末日一  
十八號運長賄章四三六六號モ以モ當頃頃日、標スル額半賄末日一  
又ハ東中儲宝イ、出合頃日、受新賄日ニ付モハ即時十二月二  
本年一月一日遇頃解貰號三圓額貲寶營業高額中ニ付モハ日本號言

母 藤 味 鍾 大 錦

大頭省松賛局員 八 種 文 薦

勘定五金賄旨發着啓

國味十八年四月十日

通貨ニ付賣買セツトオフノ上差引賣又ハ買越殘高ヲ右外貨ニ對ス  
ル圓貨ノ平均相場ヲ以テ本年九月三十日受渡ノ豫約ニ乘換フルコ  
トニ取引相成度

此段及通牒候也

大日本帝國政府

# 府政國帝本日大

# 大日本帝國通訊

昭和十八年四月十九日

大藏省外資局長 久保文藏

日本銀行外事局長 柳田誠二郎殿

昭和十八年三月十日法律第四十二號ヲ以テ銀行ノ營業年度ノ改正ニ  
伴ヒ補償制第三國通貨爲替持高集中ニ於ケル日本銀行又ハ集中勘定  
トノ出合取引ノ受渡期日ニ關シ本日別紙ノ通横濱正金銀行ニ通牒致  
置候條御了知ノ上可然御取計相成度

別紙「横濱正金銀行宛通牒」省略

熊師本年六月三十日受點時日開示令ニ付于ハ銀庫、大藏、通商、  
日支銀行、支那銀行、中華人民銀行、中國銀行、華南銀行、華中銀行  
月六日又ハ三月庚日一千九百三十三年正月二十日、出合期日、受點期日、  
日支銀行又ハ支那銀行、中華人民銀行、中國銀行、華南銀行、華中銀行  
平成元年三月十一日受點期日一千九百三十三年正月二十日、受點期日、  
十八日銀庫受點期日三千九百三十六年正月二十日、受點期日、  
大日本十二月中、出合期日、受點期日、  
本年一月一日受點期日、受點期日、  
又ハ慶中銀庫又ハ出合期日、受點期日、  
本年一月一日受點期日、受點期日、  
浦興又ハ通牒付處  
イニ頃に附如照  
山圓音、平民財團、以マ本年六月三十日受點、  
圓音ニ付賣買手代イ太々、士族侵賣又ハ買城銀高、本代肯ニ譲又  
大藏省外資局長 久保文藏